

令和3年度職業能力開発論文コンクール「入賞者の声」

令和3年度職業能力開発論文コンクール厚生労働大臣賞（特選）に入賞された廣川 雅也氏、篠 元太氏が、コンクール事務局の質問に回答してくださいました。



写真. 廣川 雅也氏（右）、篠 元太氏（左）

入賞者の声：

Q 1. 普段はどのような業務に携わられていらっしゃいますか。

福井職業能力開発促進センターで職業訓練指導員として、電気設備技術科およびビル管理技術科の離職者訓練を担当しています。また、シーケンス制御・PLC制御および電気工事に関する在職者訓練も担当しています。

Q 2. 今回の論文はどう業務に活用して貰いたい（どういった方に読んでいただきたい）ですか。

離職者訓練で住宅配線等を実施している方、または今後導入しようとしている方に読んでいただければと思います。論文の内容を参考にして訓練に活かしてもらえると幸いです。

Q 3. 今回の論文を作成する際に気を付けたことはございますか。

文章ばかりにならないように、実際の訓練風景が分かる写真を添付することや、内容を難しく書かないよう気を付けました。

Q 4. 今後の応募を検討されている方へのメッセージはございますか。

私自身、論文を書くことが初めてであり、文章を書くことも得意な方ではありません。論文の題材や構成などは自分自身で考えないといけないですが、同じ系内の指導員や管理職の方もサポートしてくれました。難しいものとは思わず、執筆する内容等ありましたら、まずは気軽にチャレンジしてほしいと思います。

Q 5. 今回の論文を執筆された心境やきっかけをお聞かせください。

離職者訓練を実施していく中で訓練生の知識・技術向上のため訓練内容や課題を日々検討し、実施していました。自分自身、論文のことは頭になく業務をこなしていました

令和3年度職業能力開発論文コンクール「入賞者の声」

が、訓練課長から「この取組は論文に書ける内容だよ」と言ってもらい、論文を執筆することにしました。初めは不安ばかりでしたが、周囲のサポートのおかげで無事論文を完成させることが出来ました。

ご回答いただきどうもありがとうございました。

令和3年度職業能力開発論文コンクール事務局
基盤整備センター